

熊本地震におけるリハビリ支援活動について

東京慈恵会医科大学附属病院と東京都理学療法士協会（総合東京病院 PT 2名）でチームを組み、JRAT 派遣場所指示に従って平成 28 年 5 月 19 日（木曜日）から平成 28 年 5 月 23 日（月曜日）まで支援活動を行った。なお、活動支援に関する旅費等などの費用は東京慈恵会医科大学附属病院リハビリテーション医学講座にて負担した。

1 支援活動日程

平成 28 年 5 月 19 日（木曜日）から平成 28 年 5 月 23 日（月曜日）まで

2 支援チーム

東京慈恵会医科大学附属病院リハビリテーション医学講座 医師 1 名
東京都理学療法士協会（総合東京病院） PT 2 名

3 状況

嘉島町体育館に約 400 名の方が避難されており、約 100 名程度の高齢者が日中避難所に留まり、不活動傾向にあった。

4 活動内容

東京都理学療法士協会の理学療法士 2 名と共に介入した。不活動状態の避難者を対象に身体機能評価、アクティビティの提供、手すりの設置やベッドの導入等の環境整備、仮設住宅へ移行支援を、現地の保健師と情報共有しながら行った。

5 課題

アクティビティのための洗濯機や調理器具、洗面台などが不足していた。次に来るチームへの申し送りが不十分とならぬよう、詳細なテンプレート作成が望まれる。

百崎 良(東京慈恵会医科大学)